

給食費などに活用を

岡安町の渋谷組が4年連続 西八田小PTAに200万円

「給食費などに役立つ」と岡安町の総合



四方会長(右)に寄付金の目録を手渡す渋谷社長＝岡安町で

建設業、渋谷組(渋谷良作社長)が、岡安町の西八田小学校(山中大介校長、85人)のPTAに200万円を寄付した。同校敷地のフェンスを無償で新調するなど地域貢献に努めてきた同社は同校PTAに

2021年度以降、6年間をめぐりに各年200万円の寄付を開始。4年目に当たる今回、渋谷社長(65)が四方会長(37)に目録を手渡した。月額4千円相当の給食費のうち、PTAを通じて半額相当の2千円分に寄付を充当することで、同校が集金する保護者負担を半減できる。同校出身でもある渋谷社長は「西八田に子育て世帯

子育て世帯の定着へ

などの住民が増える」とともに空き家も減らせたい」と語り、「同業の建設業者の間にも市内各地区でこの取り組みが広まってほしい」と期待を示した。ついで同校に通う四方会長(37)が「寄付に感謝し、地元」

の残額を教室の机の天板拡張ボード、体温測定用赤外線カメラ、給食当番用エプロンなどにも活用してきたが、今後4～6年目の寄付については「澁谷文庫」と題し、書籍の整備にも活用する計画。書架は既に設置しており、今後3年間に年100冊ずつ書籍を購入して児童だけでなく保護者や同地区住民らに貸し出している。【朝倉聡】

「澁谷文庫」の整備にも

同校では給食費補助

